



四編下

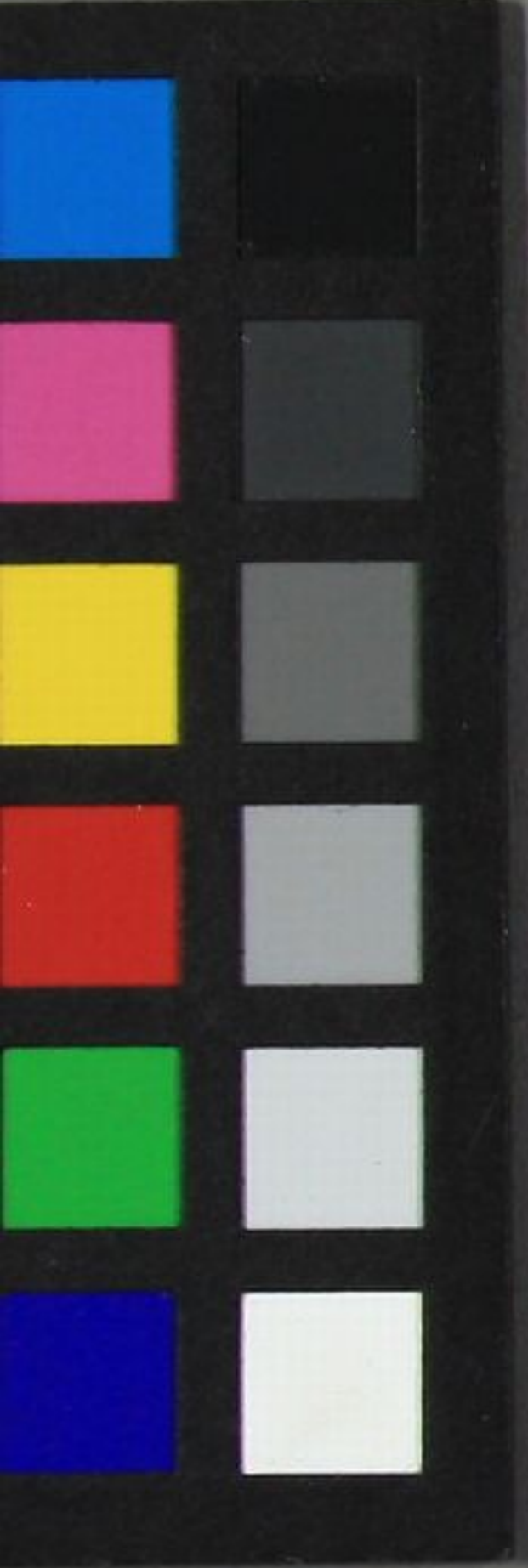
川柳
巻
画

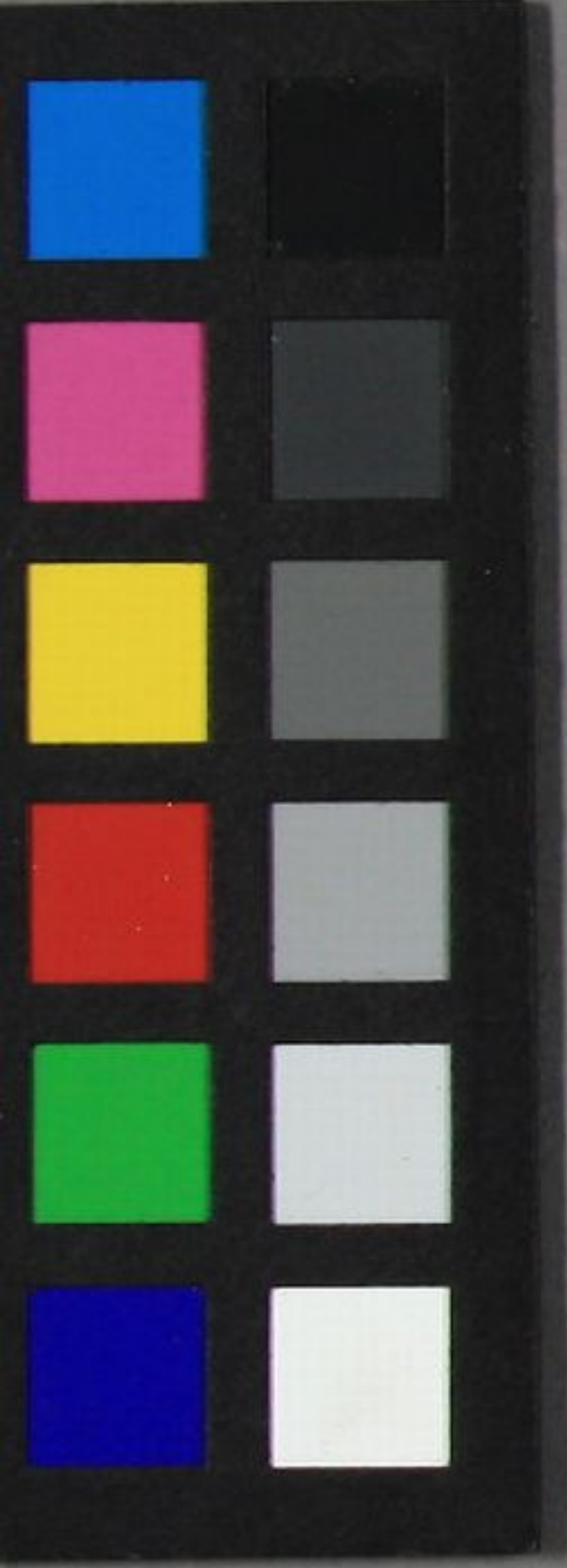
上巻



四編上

織
り
あ
ら
わ
る





田舎織糸線狭衣四篇上
 緑亭川柳作一陽齋豊因
 畫 壬子春 錦耕堂版



田舎織糸線狭衣第四編

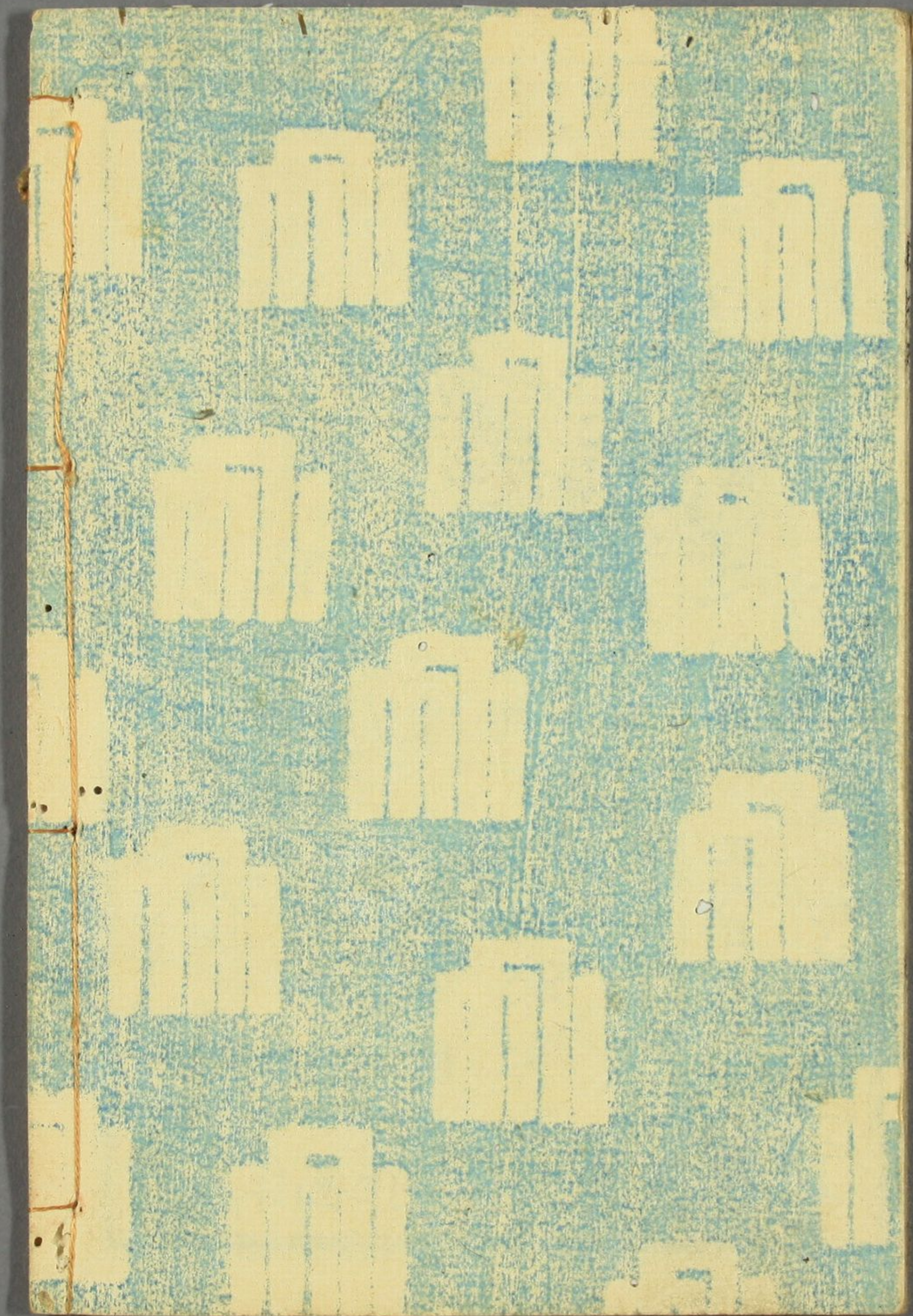
猛獸の伏猪と云ふ優り也靴爪の爪はどきどき憎からば夕負のほのく
 見つると詠りし風雅小圃へ世の諺苟度ぬを荒々敷の嫌ひ和うたせ
 静け大御代のあまのむすびはれんが鄙俚綴あみごふもとれぬ
 習ひの金平あんなの野暮と妖物の世は廃果源氏竹取中めは翻
 譯流行の風流も日々小成んふもはごのみみ歳々小新らうく草
 双紙の時ふりし幼童の目を悦ばせぬと捕らぬ金剛山の壁書の趣
 を思ふ小戯作を觀懲を専ら繪の今様を最上と外題を
 采を美麗くする依りてやうき色見えさうはらふ人の心ゆを
 畢竟其物に本情實義を失はざる業とせよあれと故人の教の詞を
 芽出度おのひ糸線狭衣も其例の著せり

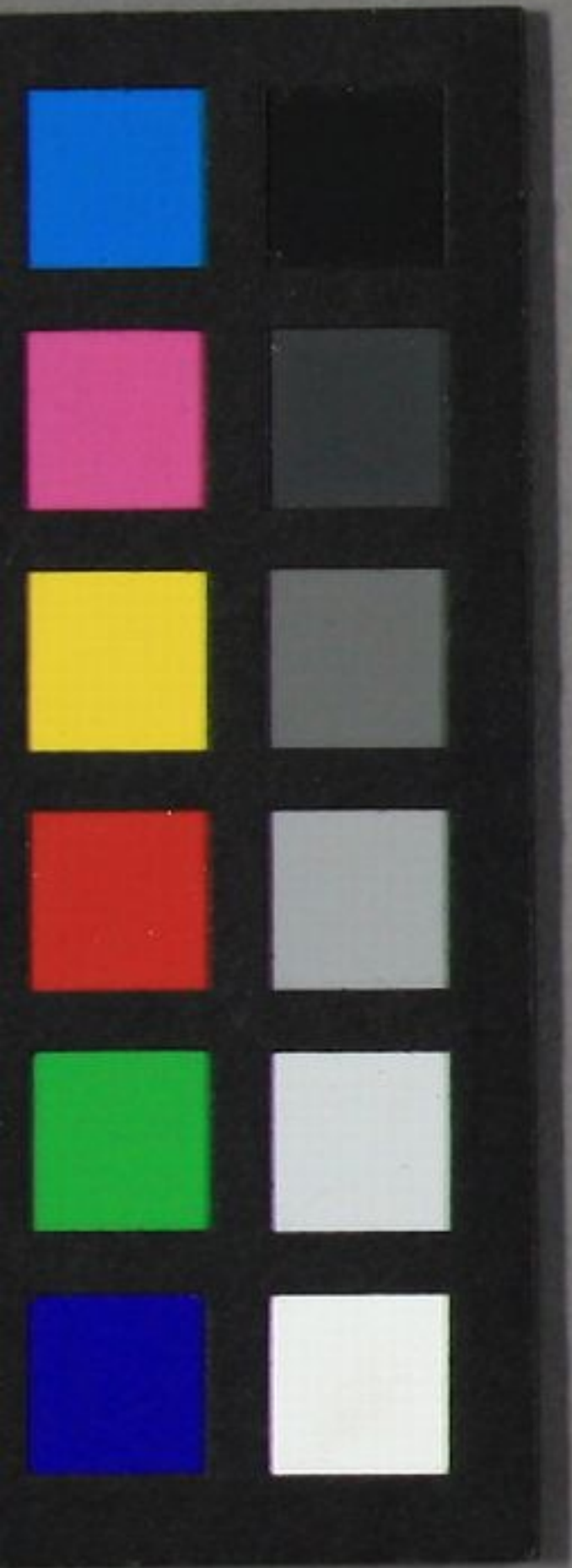
嘉永五子年初春新刺

緑亭川柳記







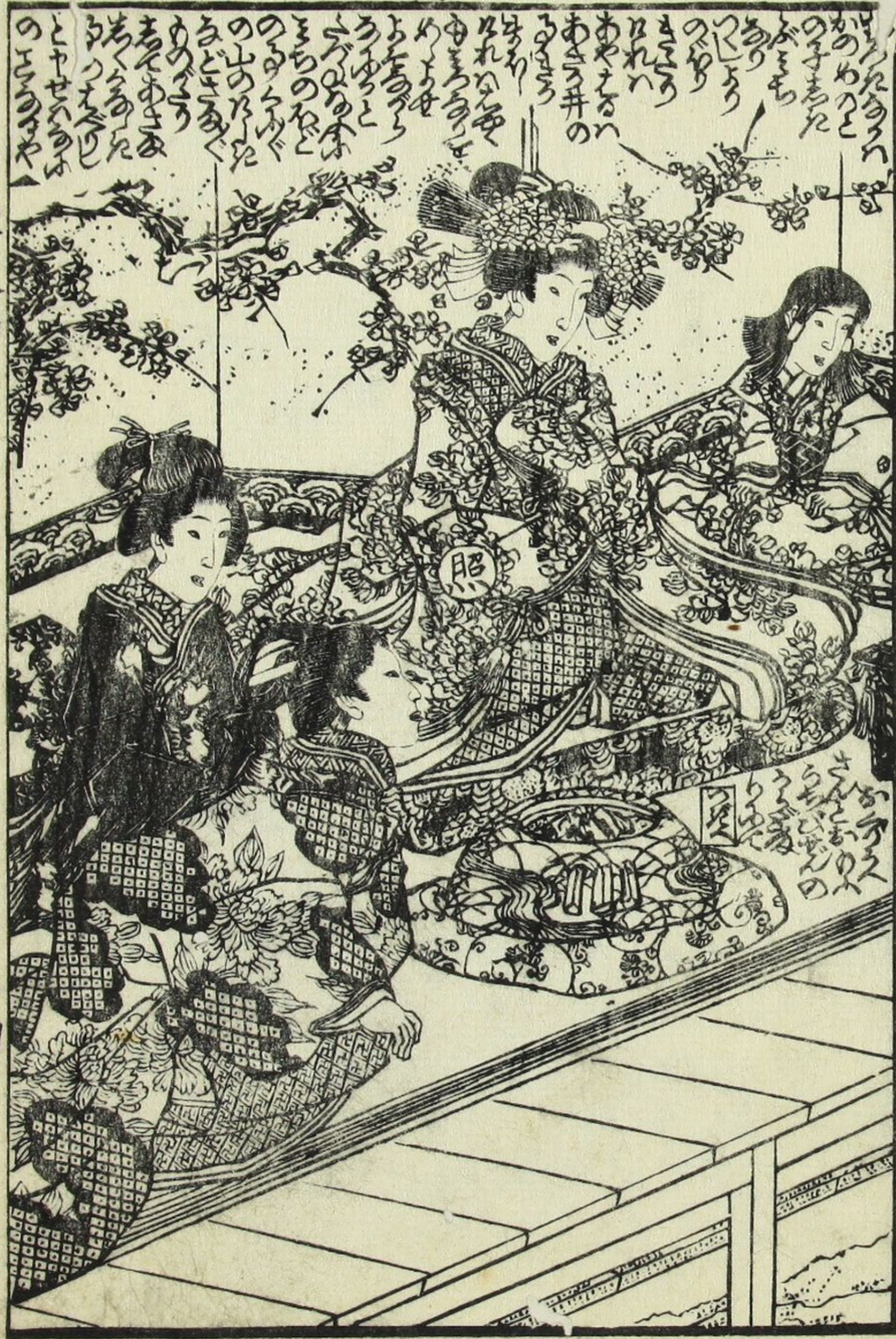


乙女屋

川柳
画

四編下





大
四



大
四

十
三



花の...
...

...

嘉永五壬子歲新鐫藏版目錄

豐國画川柳作



改東太郎後世譚 編西馬作

倣像 初輯
水滸 二輯
使銘鑑 三輯

岸柳四魔談 三編同作

樂亭西馬稿案
鉸持樓國輝画圖

懃善 七編
乘合 八編
嘶 一編

柳下亭種員作
一陽齋豐國画

江戸鹿子紫草紙 二編

文亭梅彦作
香蝶樓豐國画

小栗判官駿馬譽 中西馬編

東頭山長宮 一本
樂亭譯

為朝弓勢錄 全

東知馬喰町二百西側
繪草紙
問屋山口屋藤兵衛

